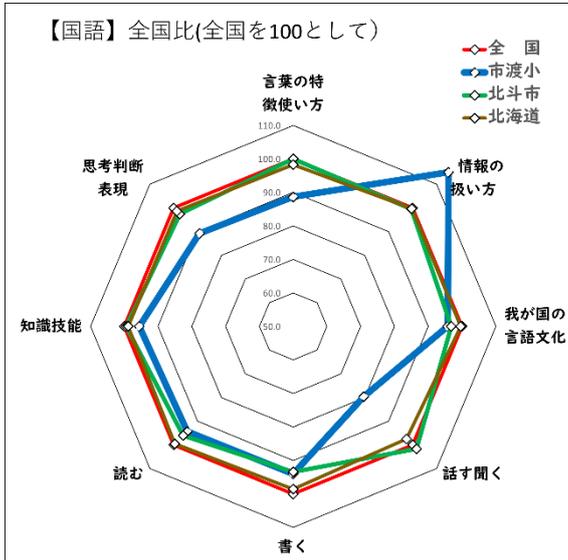




令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果 報告

4月18日に実施されたこの調査を受け、結果の分析を行い、学力向上への取組を進めています。北斗市全体の様子については、北斗市HPに掲載されておりますので、あわせてご覧ください。

国語の結果



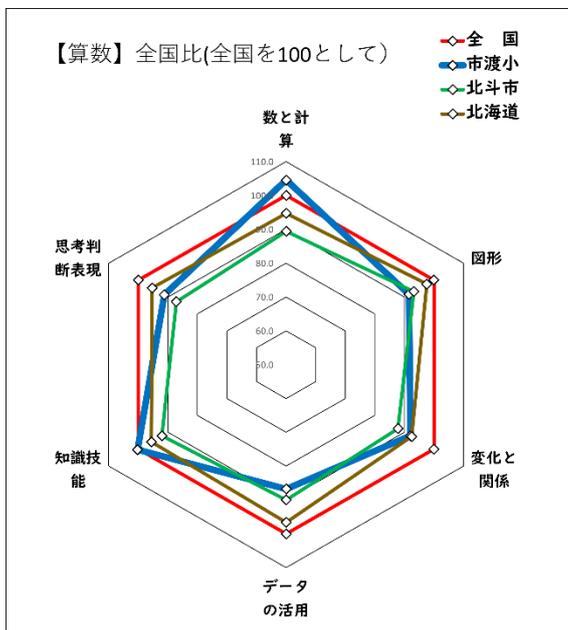
全国	道	北斗市	本校
67.7	67	66	62

正答率は国・道・市より低い結果でした。

◇「【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書くこと」や「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解すること」はできている。

◆「話し言葉と書き言葉との違いについて理解すること」や「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること」に課題がある。

算数の結果



全国	道	北斗市	本校
63.4	61	57	62

正答率は道や市よりも高い結果でした。

◇「数と計算」領域において、数量関係を式に表すことや、基本的な除法の計算が定着している。

◆「思考・判断・表現」の観点で以下の課題がある。

- ①「数と計算」領域において、計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること。
- ②「図形」領域において、図形を構成する要素を見だし、それらを活用して体積を求めること。
- ③「変化と関係」領域において、速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解すること。
- ④「データの活用」領域において、示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断すること。

児童質問紙の結果

- ◇主体的・対話的な深い学びの視点からの授業改善を通して、発表力の向上を実感している児童は多い。
- ◆課題解決やまとめる活動については自分から取り組んでいる意識は薄い。
- ◇個別最適な学び(個に応じた指導)・協働的な学びに関しては、自分に合った学習形態や友達との学習の充実を概ね実感している子が多い。
- ◆学習の振り返りを次につなげる意識は低い。
- ◇個別最適な学びの場面でのタブレットの有用性は実感している。

国 語	算 数	質 問 紙
取		組
<ul style="list-style-type: none"> ○話し言葉と書き言葉との使い分けを身に付ける。 ○資料を活用し、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。 ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○円周率を用いて直径の長さから円周の長さを計算によって求めるだけでなく、円周率が円周の長さの直径の長さに対する割合であることを理解できる。 ○身の回りの形から図形を捉え、図形を構成する要素を見だし、体積を求めるために必要な情報を判断できる。 ○二つの数量の関係に着目し、場面に応じて速さの比べ方を考察できるようにする。 ○日常生活の場面のデータをグラフに表し、そのグラフから特徴や傾向を捉え、見だしたことを表現できるようにする。こ ○日常の生活の問題を解決するために、必要な数値を用いて処理したり、その結果を式に表したりすることができる。 	<p>教科や道徳、特別活動などを通じて、次の点を重点的に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○規則正しい生活習慣の確立。○学習習慣の確立。 ○自己肯定感の高揚。 <p>ご家庭のご理解とご協力もどうぞよろしくお願いいたします。</p>